

1

読む

人物の思いを音読で伝えよう
だいじょうぶ だいじょうぶ

名前 年 組 番

/ 5問

◆ 次の物語を読んで答えましょう。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」

^①それは、たいていの病気やけがは、いつか治るもんだってことでした。

それは、言葉が分からなくても、心が通じることもあるってことでした。

それは、この世の中、そんなに悪いことばかりじゃないってことでした。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」

ぼくとおじいちゃんは、何度その言葉をくり返したことでしょう。けんちゃんともくみちゃんとも、いつのまにか仲良くなりました。犬に食べられたりもしませんでした。

何度も転んだけかもしたし、何度も病気になりました。でもそのたびに、すっかりよくなりました。車にひかれることもなかったし、頭に飛行機が落ちてくることもありませんでした。むずかしい本も、いつか読めるようになると思います。もっともっと、たくさんの人や動物や草や木に出会えると思います。

^②ぼくは、ずいぶん大きくなりました。おじいちゃんは、ずいぶん年を取りました。だから今度は ^③ぼくの番です。

おじいちゃんの手をにぎり、何度でも何度でもくり返します。

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」

^④だいじょうぶだよ、おじいちゃん。

(いとう ひろし「だいじょうぶ だいじょうぶ」より引用)

^①「それ」とは、何を指しますか。文章から書きぬきましょう。^②おじいちゃんの言葉は、ぼくにどんなことを教えてくれたのですか。次から一つ選んで、○を付けましょう。

() 世の中の人とは、みんな仲良くしなければいけない。

() たくさん勉強すれば、いろいろなことが分かるようになる。

() ちゃんとじゅんびしておけば、こまったことにはならない。

() たいていのことは、心配しなくてもなんとかなる。

^③「ぼくは、ずいぶん大きくなりました」からは、いつのことが書かれていますか。次から一つ選んで、○を付けましょう。

() ずっと前のこと。

() 今のこと。

() ずっと先のこと。

^④「ぼくの番」とは、ぼくがどつする番といつじうですか。書きましょう。^⑤「だいじょうぶだよ、おじいちゃん」と思っているぼくは、どんな気持ちでいるでしょう。あなたの考えを書きましょう。